

令和2年4月7日

新2，3年生の皆さんへ（お詫び）

本校A L Tの新型コロナウイルス感染による臨時休校、始業式の延期など、生徒の皆さんにはたいへんなご迷惑をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。全校で感染防止に取り組んでいた時期の発生であり、大きな不安を与えてしまったことを本当に申し訳なく思っております。

現在、他の職員、生徒に症状はなく、あす4月8日には校舎の消毒が行われる予定です。市教育委員会や保健所の指導のもと安全を確認し、学校再開日をお知らせできるまで、もうしばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

今回の感染により、生徒・保護者の皆さんにはご心配のみならず、多大な影響が出ていることに心を痛めております。ウイルスという目に見えない脅威に対し、その影響が出るかも知れないという世の中の恐怖心が、様々な形になって皆さんやご家族を苦しめているのではないかと心配しております。

3月30日の登校日、皆さんに配った修業式代わりの挨拶文で、愛知の小学生が感染者収容病院の職員に励ましの寄せ書きを送ったエピソードを紹介しました。世界で起こっている出来事は、明日にもここで起こりうること—まさに数日後に起こってしまったことになります。

日本、世界がウイルスの脅威に不安を増大させている中であっても、皆さんは本校で学んだ経験により、人を思い、つながり、日々励ましていることと思います。医療従事者など最前線で戦っている方々へ感謝し、通常の仕事ができずに悩む大人を思い、感染が拡大している関東、世界を思い、飲み水を確保できない途上国を思うことを通し、自分の将来のありようを思い描く時もあることと思います。

現在しなくてはならないこと。それは、自身の感染を防ぐことで、それは家族や友人や社会を守ることにつながることです。毎日の検温や外出自粛の意味は、人を思うためです。どうぞ、これから拡大すると予測される事態を最小限に食い止められますよう、ひとりひとりが力を尽くしてください。世界の感染が縮小しない限り、この不安と脅威から逃れられませんが。

仙高生は「自」「他」を隔てることなく、「だれでも他の立場になりうる」という立場から世界を見て、この先にある未来に夢描いてくれるよう期待しております。

最後になりますが、生徒・保護者の皆さんに改めてA L T職員の感染に深くお詫びを申し上げますとともに、学校再開日のお知らせが遅くなっていることにご理解を賜りますようお願いいたします。

仙台高等学校長 町田尚彦